

# じいじの暮らごとが大好きです



今年2月から木次町の農事組  
合法人・日登牧場で乳牛の飼育・  
管理などを行っている藤本<sup>ひもと</sup>拓人<sup>ひろと</sup>さん  
(36才)・直子<sup>なほこ</sup>さん(33才)。農業従  
事者の高齢化・後継者不足が叫ば  
れる中、藤本さん夫妻は北海道か  
ら移住され、酪農研修に取り組み  
れています。

## なぜ雲南市へ

6年前まで静岡県で、私は  
営業の仕事をして、妻は銀行員を  
していました。

私が30歳を迎えたある日、  
「思いきって、毎日収穫でき  
る農業をやってみよう」と北  
海道へ行ったのが農業をする  
きっかけでした。

もちろんそれまでは、畜産  
の経験がなかった訳ですが、

乳作業や病気の治療など毎日  
が勉強でした。  
作業はきつかったですが、  
やりがいのある仕事でした。

このほか、北海道では牧草  
地の管理やサラブレッドの生  
産にも携わりました。

その後、もっとほかの地で  
も学びたいと思っていた時、  
ここ雲南市の求人情報が飛び  
込んできたことから、こちら  
に来ました。

## 1日での生活は

最初に来た時、戸惑いがあ  
りました。

山の急斜面を利用した放牧  
場や経営スタイルが、これま  
での北海道のイメージと大き  
く違っていたからです。

ですが、この牛(ブラウ  
ンスイス)の乳質は抜群です  
し、何よりここでのオリジナ  
ルの牛乳生産にはやりがいを  
感じます。

また、妻も子どもも、ここ  
での生活を大変気に入って  
います。

## どんな作業をされていますか

朝は5時前に牧場へ行き、  
牛たちに餌をやり、引き続き、  
搾乳を行い、牛乳の出荷をし  
ます。



それが終わ  
ると、畜舎の  
清掃作業や放  
牧場の見廻  
り、草刈り、  
牛の健康状態  
のチェック、  
堆肥場での作  
業などを行  
います。



「初めてのことはばかりで、日々勉強です」と話してくれた直子さん。授乳の様子

そして、午後4時からまた  
搾乳というのが、1日の作業  
の流れです。

## 雲南市の印象は

まわりの美しい山や川の自  
然、そして、懐かしい田園風  
景や街並み。とにかく、この  
自然が気に入りました。

それに、地元の方の人柄が  
温厚で、大変親しみを感じま  
す。ただ、出雲弁はちょっと  
分からない言葉もありますね。

これからは職場でも、家庭  
でも地域に密着した、いい関  
係が持てるようにしたいです。

## 今後の抱負

この牛たちの特性を活か  
し、良質の牛乳を生産したい。  
そして、自分らしい酪農経営  
のスタイルを確立させたいと

## 遊びにきてね



思います。  
また、地域の人と積極的に  
ふれ合い、この地に根を張っ  
て住みたいと思います。  
みなさん、山の急斜面を歩  
く牛やかわいい子牛たちを見  
学に、ぜひこの牧場へ遊びに  
きてください。